

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
看護技術到達演習		NSP44_001	必修	2	4	通年
担当教員		研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山崎 さやか 他		411	s.yamazaki	授業終了後に質問等受付		
授 業 の 目 的 ・ 概 要	看護技術は、看護の専門知識に基づいて、看護の対象となる人の安全・安楽・自立を目指した行為である。卒業時に到達する技術の「看護師教育の技術項目と卒業時の到達度」を参考に、４年間で学んだ知識・技術・態度を対象者への安全・安楽・自立に向けた援助行為につなげられるように実技を通して再確認することを目的とする。					
授 業 形 式 ・ 方 法	☒対面授業 ☐遠隔授業(双方向型) ☐遠隔授業(自主学習) ☒講義 ☐実習 ☒演習 ☐実技 ☐PBL ☒グループワーク ☐その他（ ☐反転授業 ☒プレゼンテーション ☐実習・フィールドワーク ☐ディスカッション・ディベート ☐実習・フィールドワーク					
学 習 上 の 助 言	これまでの知識・技術・態度を振り返り、看護職者としての実践力を養うために、主体的に行動・学習してください。					
教 科 書	特になし					
参 考 書	特になし					
外 部 教 材	特になし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	事例のアセスメントを通して、根拠に基づいた看護計画を立案できる				NS (1)～(5)	
②	看護職者に必要な知識と技術を身につけることができる				NS (1)～(5)	
③	看護職者に必要な態度を身につけることができる				NS (1)～(5)	
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	4/17 3 限 オリエンテーション 課題 1 の説明		講義・演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
2	4/21 5 限 事例 1：グループワーク		演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
3	4/24 3 限 事例 1：グループ発表		演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
4	4/24 4 限 事例 1：グループ発表、課題 2 の説明		演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
5	4/28 5 限 事例 2：グループワーク		演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
6	5/8 3 限 事例 2：グループ発表		演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
7	5/8 4 限 事例 2：グループ発表、課題 3 の説明		演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
8	5/12 5 限 事例 3：グループワーク		演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
9	5/15 3 限 事例 3：グループ発表		演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
10	5/15 4 限 事例 3：グループ発表、課題 4 の説明		演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
11	5/19 5 限 事例 4：グループワーク		演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
12	5/22 3 限 事例 4：グループ発表		演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
13	5/22 4 限 事例 4：グループ発表、課題 5 の説明		演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
14	5/29 3 限 事例 5：グループ発表		演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
15	5/29 4 限 事例 5：グループ発表、総評		講義・演習	課題に関連した予習・復習を行う 1		
16	9/17 1 限 オリエンテーション、人体の構造と機能		講義・演習	講義に関連した課題を行う 1		
17	9/18 2 限 確認テスト①、成人看護学(1)		講義・演習	講義に関連した課題を行う 1		

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

18	9/25 2 限 確認テスト②、成人看護学(2)	講義・演習	講義に関連した課題を行う	1			
19	10/2 2 限 確認テスト③、基礎看護学(1)	講義・演習	講義に関連した課題を行う	1			
20	10/9 2 限 確認テスト④、基礎看護学(1)	講義・演習	講義に関連した課題を行う	1			
21	10/16 2 限 確認テスト⑤、在宅看護学	講義・演習	講義に関連した課題を行う	1			
22	10/23 2 限 確認テスト⑥、看護の統合と実践	講義・演習	講義に関連した課題を行う	1			
23	10/ 30 2 限 確認テスト⑦、母性看護学	講義・演習	講義に関連した課題を行う	1			
24	11/6 2 限 確認テスト⑧、小児看護学	講義・演習	講義に関連した課題を行う	1			
25	11/13 2 限 確認テスト⑨、老年看護学	講義・演習	講義に関連した課題を行う	1			
26	11/20 2 限 確認テスト⑩、疾病の成り立ちと回復の促進	講義・演習	講義に関連した課題を行う	1			
27	11/27 2 限 確認テスト⑪、精神看護学	講義・演習	講義に関連した課題を行う	1			
28	12/4 3 限 確認テスト⑫、健康支援と社会保障制度 (1)	講義・演習	講義に関連した課題を行う	1			
29	12/11 3 限 確認テスト⑬、健康支援と社会保障制度 (2)	講義・演習	講義に関連した課題を行う	1			
30	12/19 2 限 確認テスト⑭、まとめ	講義・演習	今までの講義を復習する	1			
試	最終試験：1/8, 再試験 1/15						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		88	0	10	0	2	100
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	28	0	0	0	0	28
	協調性・リーダーシップ	0	0	2	0	0	2
	発表・表現伝達する力	0	0	2	0	0	2
	コミュニケーション力	0	0	2	0	0	2
	取組みの姿勢・意欲	0	0	2	0	2	4
	問題を発見・解決する力	0	0	2	0	0	2
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	前期：課題に関連した小テスト（10 点）			講義または Teams でフィードバックをする。	
	②	✓	後期：各回に関連した確認テストを実施する（2 点×14 回）。				
	③	✓	最終試験：50 点				
レポート	①						
	②						
	③						
成果発表	①	✓	前期：事例のグループワーク・発表で評価する（2 点×5 回）。			講義または Teams でフィードバックをする。	
	②	✓	・根拠に基づき、図や写真などを活用して分かりやすく説明できているかを評価する。				
	③	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
その他	①		講義・演習への取り組み姿勢で評価する（2 点）。				
	②						
	③	✓					

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

備 考	
他 担 当 教 員	◎ 坂本 文子 望月 宗一郎、梶原 睦子、森川 三郎、窪川 理英、飯嶋 玲奈、小石川 好美、佐野 宏一朗、 東福寺 愛実、堀口 まり子、吉岡 睦世、伊丹 幸子、馬淵 路子、山本 富士子
教 員 の 実 務 経 験	科目を担当する教員は臨床および教育に関する豊富な経験を有している。
実 践 的 授 業 の 内 容	看護職者としての経験を活かし具体的な事例や場面を交えながら、学生が想起できるように講義・演習を行う。
そ の 他	・オリエンテーションで注意事項等について説明するので、必ず参加してください。 ・講義日程が変更になる場合があります。